

5年生 領域名「ボール運動」～ゴール型 タグラグビー～

安城市立桜町小学校

1 単元の目標

- チームの仲間と協力し、相手と競い合いながら、ゲームで競う楽しさを味わうことができる。 (関心・意欲・態度)
- 自分のチームや相手のチームの動きに合わせて、効果的な作戦を考えることができる。 (思考・判断)
- 点を取るためにチームで連携した攻守の動きができる。 (技能)

2 単元計画（8時間完了）※（ ）は活動時間内における実質ゲーム時間

分/時	1	2	3	4	5	6	7	8
授業時間(45分)に対するゲームの割合	44%	56%	44%		54%			67%
めあて	タグラグビーを知ろう	タグラグビーをやってみよう	守備力強化DAY! 守備力をアップしよう		自分のチームの作戦を実行しよう			タグラグビー大会をしよう
0	準備運動・本時のめあての確認							
10	0オリエンテーション	0 5対5 試しのゲーム (25分)	0インベーダーゲーム		0 5 v 5の試合を4試合行う(24分)			0 5対5 0総当たり (30分)
	0ウォーキングで 3対3のゲーム (20分)		0むかで鬼		5対5のゲーム(3分) ↓ 作戦タイム(1分) ↓ 5対5のゲーム(3分) 1試合目 5対5のゲーム(3分) ↓ 作戦タイム(1分) ↓ 5対5のゲーム(3分) 2試合目 5対5のゲーム(3分) ↓ 作戦タイム(1分) ↓ 5対5のゲーム(3分) 3試合目 5対5のゲーム(3分) ↓ 作戦タイム(1分) ↓ 5対5のゲーム(3分) 4試合目			
20			0手つなご鬼					
			0 2 v 2ラインディフェンス					
30			0 5対5 (フルバックを配置して) (10分)					
40			0 5対5 (水平ラインで) (10分)					
	本時の振り返りと次時の確認							

3 内容の紹介

内容	ポイント
○ウォーキングで 3 対 3 	・ウォーキングタグラグビーで、ルールをしっかりとおさえておく。 ・反則のポイントは 3 つ。 ① ノックオン（ボールを前に落とす） ② オフサイド（ディフェンスラインより前でプレイする） ③ スローフォワード（前にパスする） この 3 つをおさえておけば十分試合ができる。
○チーム練習 ・ゲームを行う時間を十分に確保するために、できるだけ短時間で行う。  「むかで鬼」  「手つなぎ鬼」  「インベダーゲーム」	
○戦術を高めるための手立て （2 対 2 ラインディフェンス）  （フルバックを配置） 	・ディフェンスが弱ければ、わざわざ作戦を立てる必要がない。まずは、ディフェンスを重視。 ・2 人でラインを作る。 （コート幅 4 m） ・5 人のうちの 1 人を後ろに下げて、フルバックを配置。 ・能力の高い児童が率先してフルバックをやりたがる。水平ラインとの違いを感じ取れると良い。

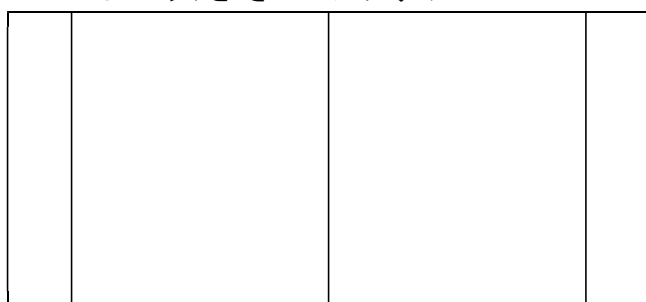
（水平ライン）



- ・ 5 人が水平にラインを作る。
- ・ 順々にディフェンスを発展させていくと、個人の役割がはっきりとしていて、隙のない水平ラインが最も効果的であることに気付くことができる。

4 コート・教具の工夫

< コートの大きさのめやす >



3 0 m

1 2 m

幅・・・身長×2×人数
縦・・・幅の2.5倍

- ・ 幅はなるべく狭く。
- ・ ディフェンス優位にした方が児童の思考が深まる。

< 作戦タイム >



- ・ 作戦タイムでは、運動量を十分に確保するため、タイマーを1分にセットし、時間を意識させる。

< 教具の工夫 >



- ・ タグの代わりにビブスを使用。

利点

- ・ 取りやすい
- ・ 現有の備品で対応できる



- ・ ボールを洗濯ネットに入れて使用。

利点

- ・ ボールをキャッチしやすい
- ・ ノックオンが非常に少なくなる
- ・ ボール操作の技能差を少なくできる
- ・ ボール操作の技能を身に付ける時間を、試合をする時間にあてられる